

柏崎刈羽原発
再稼働 許していいのか 1.11集会
～新潟の未来のため 徹底討論～

会津放射能情報センター 代表
柏崎刈羽原発運転差止請求訴訟 原告
片岡輝美

3月15日は弱い北東の風が内陸部へ 3月16日未明から、強風が内陸部から海側に流れる

第一原発付近は
北西、西から強風
きょうから

気象庁は十五日午後の予報で、福島第一原発付近の風の状況について、十六日未明以降十九日ごろまでは、北西または西からの強い風が吹くとみている。このため同原発から放出された放射性物質は、この間は内陸部から海側方向へ流れるとみられる。

同庁予報課によるところ、この付近では十五日昼ごろまでは、海側から内陸方向に五日前後の弱い北東の風が吹いていた。

福島地方気象台によると、十六日の県内は中通り、浜通りが舞のち晴れ、会津は雪の見込み。

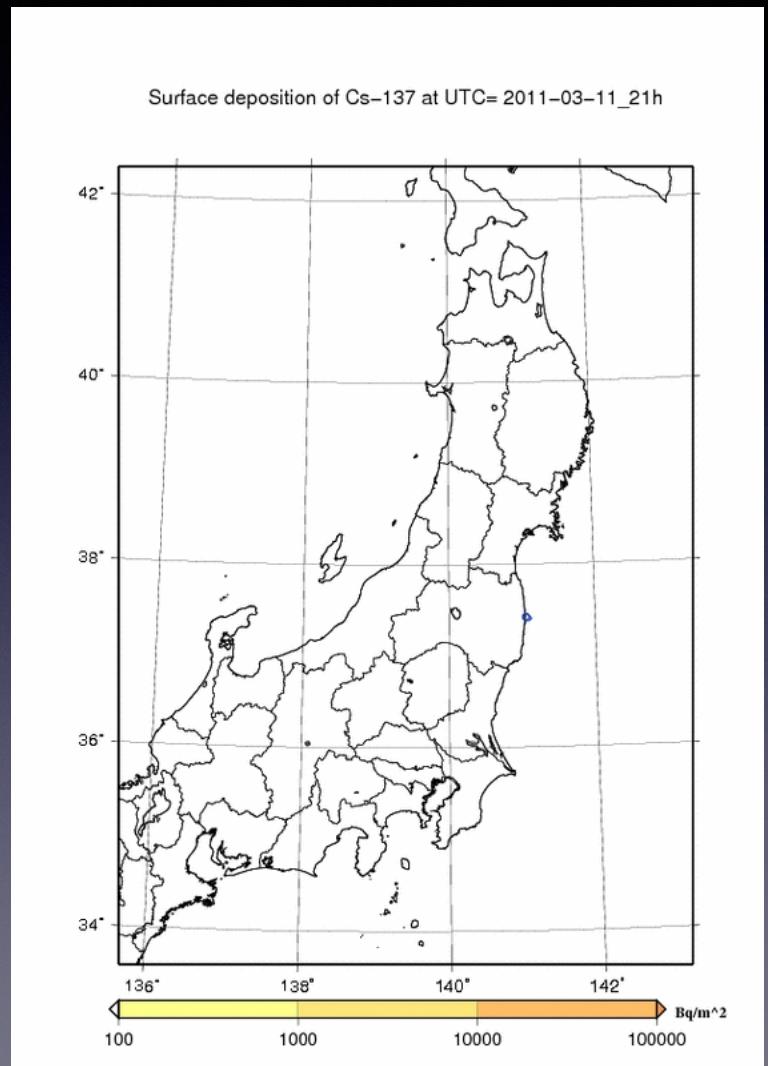
福島民報 2011年3月16日

福島第一原発から空中に放出された高濃度放射性物質の8~9割は、偏西風にのって太平洋の海と空に流れた

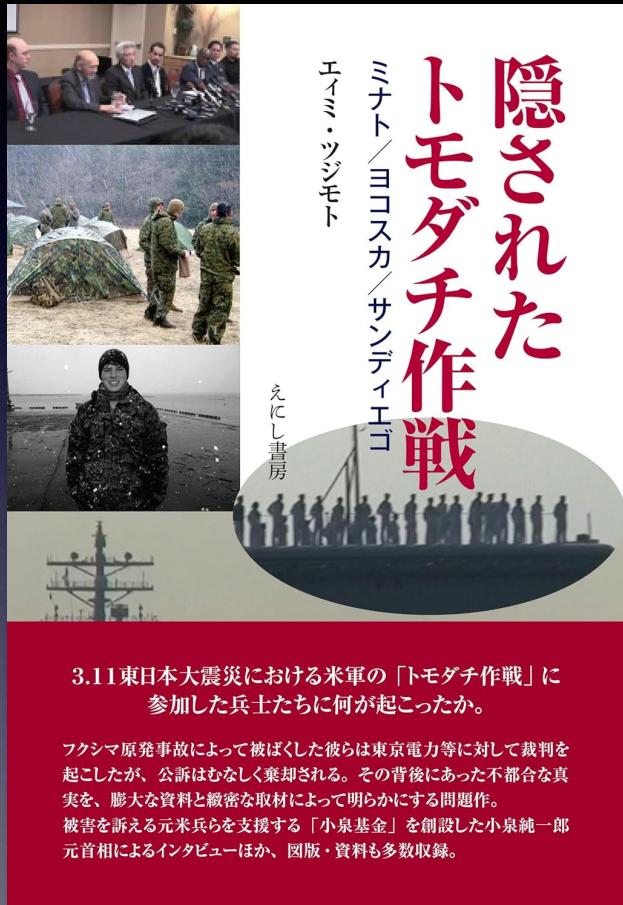
大地や海に広がる放射能汚染

日本原子力研究開発機構
発表

東日本におけるCs-137の
広域拡散と大気降下量
3月12日～4月30日までの
シミュレーション



トモダチ作戦で放射線障害に陥った米兵たち



えにし書房



朝日新聞出版

モニタリングポストの大量撤去 リアルタイム線量測定システム



2011年～2013年
県内に約3千台設置

2018年3月、原子力規制庁
約2400台の撤去
空間線量は安定してきた
維持費の確保が困難

各自治体、原子力規制庁への 要請行動が続く

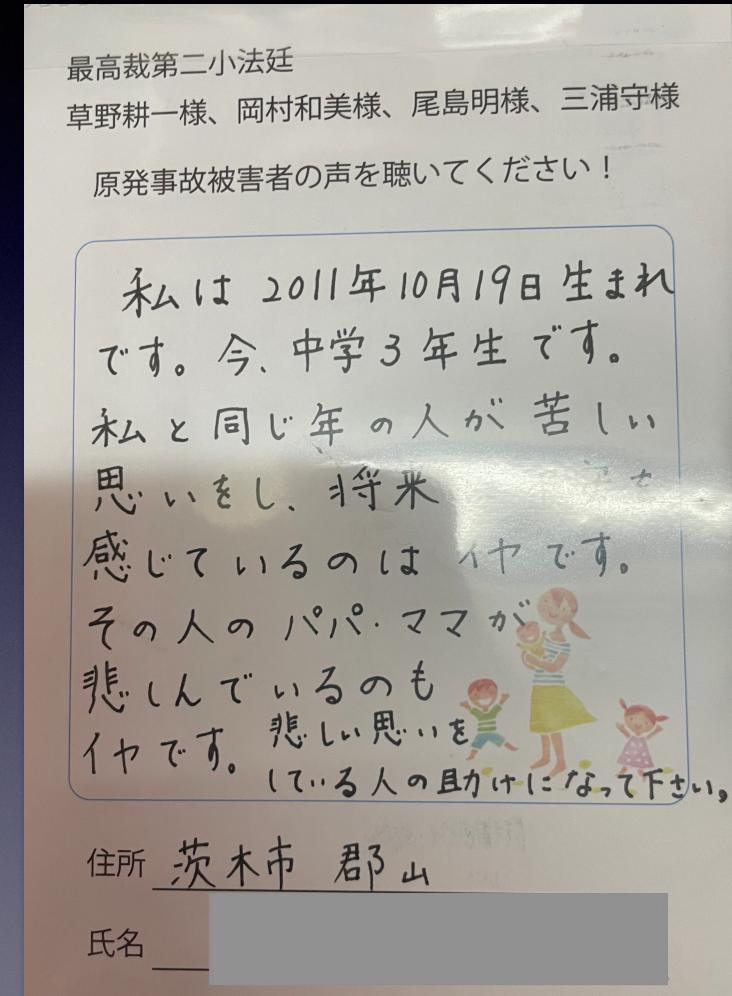
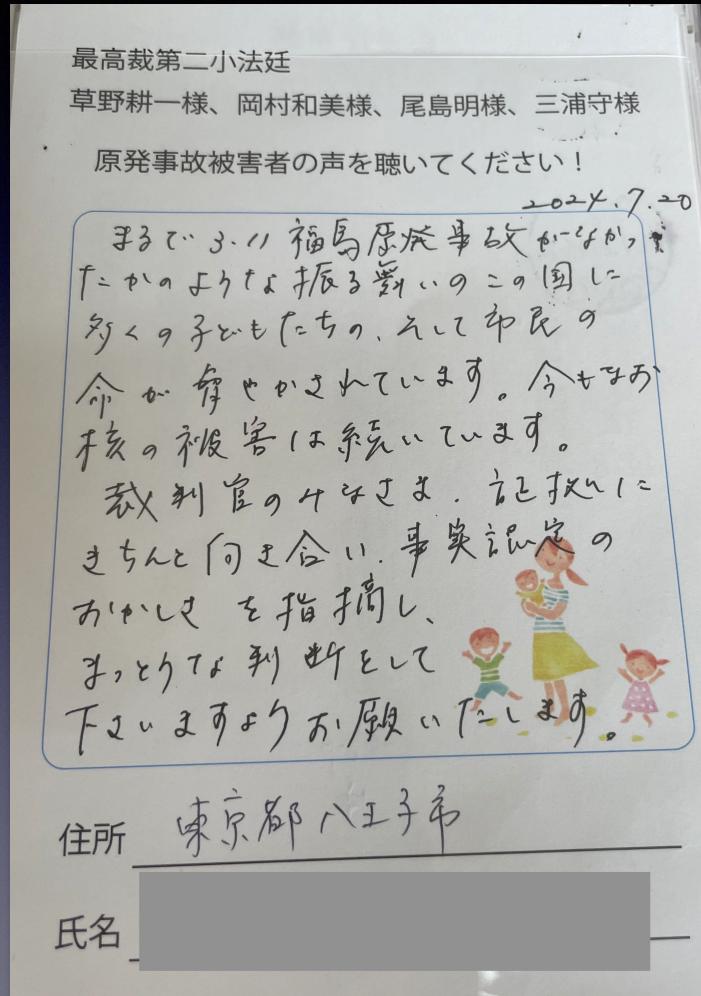


避難者を受け入れてくださった
新潟県の自治体や市民の皆さん

会津放射能情報センターの活動



ハガキアクションはいかがでしょうか？



主権者として...

東京電力福島第一原発核災害を忘れない
再稼働反対、脱被ばくの声を上げ続ける
安心して生きる権利を諦めないこと

あとに続くいのちのために！